

---

## 都市計画学シラバス

---

### 授業の目的

都市計画学では、日本の都市計画の最も基本的な内容、及び今後のまちづくりを考える際に必要な基本的ことがらについて講義する。授業の習得目標は、以下の4点である。

- (1) 日本の都市計画の概略を理解する
- (2) 日本の都市計画の現状・課題を考える
- (3) 用途地域制、市街地再開発事業、土地区画整理事業、地区計画、居住地の計画、公園計画など都市計画の基本を理解する
- (4) 諸外国の都市計画との違いに関心を持つ

### 授業の進め方

テキスト、配布資料、パワーポイントを使って授業を進める。参考文献は授業中に伝える。

毎回、授業の中間時に質問用紙を配布する。そこに、その日の授業でわからなかったこと、補足説明をしてほしいことなどを記入してもらい、残りの時間を使って質問に答える。

おおむね講義3回に1回の割合でレポート課題を出す。見学ルートを設定しそれについてのコメントを書く場合と、授業に関連する文献を読みコメントを書く場合がある。課題の詳細は授業中に指示する。またレポート課題を変更することがあるため、本シラバスよりも授業中に出す指示が優先する。

### 成績評価

成績評価は、前期試験の点数とレポートの点数で行う。比率はおおむね60%と40%。

### 授業内容

各授業の内容、回数、レポートは以下のとおり。

(1) **土地利用計画**（講義2回：1,2、レポート1）

1回目 土地利用計画、用途地域制

2回目 容積率制、諸外国の土地利用計画、既存不適格

(2) 市街地再開発事業と土地区画整理事業（講義3回：3,4,5、レポート2）

- 3回目 市街地再開発事業の仕組み、現状、問題点
- 4回目 土地区画整理事業の仕組み、現状、問題点
- 5回目 市街地再開発事業の見学

(3) 景観・公園緑地計画（講義4回：6,7,8,9、レポート3）

- 6回目 公園の種類、公園の配置計画
- 7回目 日本及び諸外国の自然環境再生
- 8回目 景観法、景観計画の現状、諸外国の景観計画
- 9回目 日本及び諸外国の歴史的環境保全と再生

(4) 居住地計画（講義2回：10,11）

- 10回目 近隣住区論、居住地の計画
- 11回目 地区計画、建築協定

(5) 交通計画（講義2回：12,13、レポート4）

- 12回目 交通の現状と問題点、道路計画
- 13回目 公共交通の現状と計画、諸外国の計画

(6) 近代都市計画の歴史（講義1回：14）

- 14回目 ハワード、ゲデス、リンチ、ジェイコブス他

(7) 都市計画決定（講義1回：15）

- 15回目 都市計画決定、都市計画の財源